

平成26年度 自己評価結果

重点目標	評価分野	努力点	評価項目	評価	改善策
「つもり」学習をやめさせ、「気づかせる」学習を図る	学習指導部	学業指導による「学ぶ意識」の高揚	生徒の授業に臨む意識（姿勢）はどうか	B	学業指導による「学ぶ意識」の高揚をさらに目指し、評価Aとしたい。
	学習指導部	より細やかな生徒理解に立った教科指導、及び基礎的・基本的な学力の確実な習得	生徒理解に立った教科指導を実践できたか	A	教員どうしの学びあいの機会を増やす。
	特別活動指導部	生徒会活動の充実	生徒会活動への主体性を持った積極的な取り組み	B	代替わりしても継続できるような指導を実践していきたい。
	渉外部	会員及び地域社会との連携	PTA総会の出席率の向上	B	授業公開、土曜日開催にして2年目となったがわずかに数値が上がっている。もう一年継続して検証してみたい。
	工業管理部	専門的な学力・技術力・能力の向上	各科での重点目標1の評価結果から	A	ジュニアマイスター憲章における取得者をさらに増加させたい。
	機械科	昨年度、合格率の低かった資格試験の指導充実	危険物乙種合格率	B	今後は、2・3年生の補習出席率を上げていく必要がある。
	生産機械科	定期試験	クラス平均点	B	QC4級検定試験での向上がみられた。QC3級での向上をめざす。
	電子科	専門的な知識・技能の習得を図る	第2種電気工事士、工事担任者DD第3種	B	第2種電気工事士の合格率が昨年度より10%以上上がった。来年度は75%以上の合格率にする。
	建設科	専門的な学力や技術の習得	2級施工管理技術検定、測量士補、技能検定等	B	2級土木・建築施工管理技術検定合格者数増加に向けての指導体制を再度見直したい。
	2学年	基礎学力の定着と学習意欲の向上	基礎テストの結果	B	同じ生徒が欠点を取ってしまっている。指導強化の必要がある。
3学年	基礎学力をつけさせる	基礎テストの結果	B	一学期の成績が思わしくないので4月の時点で基礎テストの重要性について指導する必要がある。	
創造型実践技術者の育成を図る	工業管理部	工業関係の大会等への積極的な参加	各科ものづくり大会、工業系大会への参加	B	電子科の入賞が大きく、他科の入賞を今後期待したい
	機械科	自ら考え技能向上に取り組む人材の育成	ものづくりコンテストへの参加	B	今後も今の指導体制を継続していく。
	電子科	創造型実践技術の育成を図る	①ものづくりコンテスト ②アイデアロボット ③ロボットアメリカンフットボール 各競技への参加	A	ものづくりコンテストの入賞を学科職員の目標として掲げる。
	建設科	ものづくりを通じた地域への貢献	依頼者へのアンケート結果 年度末	A	多数の生徒が参加できるような体制・計画を目指す。
	建設科	各種大会やコンクールへの挑戦	ものづくりコンテスト、建築甲子園、製図コンクール	B	建築甲子園、製図コンクールへの取り組み意識の向上を目指す。
	1学年	基本的な生活習慣の確立	出席率・遅刻率	B	保護者と連携を取りながら遅刻・欠席を防止する。
	1学年	3S（整理・整頓・清掃）の実践	3S（整理・整頓・清掃）の実践状況	A	今後も良好な状態で使用できるように継続して指導していく。
	2学年	基本的な生活習慣の確立	出席率・遅刻率	B	保護者と連携を取りながら遅刻・欠席を防止する。
	3学年	全生徒の進路実現	進路実現についてアンケートを実施	A	より一層の進路情報の伝達が必要と思われる。

自らの専門性向上を図る	教務部	現職教育の推進	職員研修の実施	A	各研修担当の努力によって4回実施したが、職務上の位置づけが明確でないため、明確化を図る。
	健康安全指導部	環境の美化	清掃状況の確認(本館のHR、廊下、階段、トイレ、昇降口)	A	来年度も継続して実施したい。
	機械科	専門性向上のための研修会等への参加	専門研修会等への参加実績	B	今後も希望研修等への積極的な参加を促していく。
	電子科	実習教材の整備・製作	実習指導用テキスト・プリントの整備	B	残りの3割程度の指導用プリントの作成。
	1 学年	基礎学力の向上	基礎テストの結果	B	数学の欠点者が多いため事前指導を重視していきたい。
教職員がお互いに支え合い、明るい職場づくり	教務部	保護者・地域への広報活動の強化	HP等を活用した広報活動	A	部、科によって、更新に粗密がある。来年度は頻度の目標を設定する。
	特別活動指導部	専門委員会の組織強化	生徒会行事と各専門委員会の連携強化	B	各行事の運営の在り方について再検討し、さらなる連携を高めていきたい。
	特別活動指導部	特活指導部の運営システムの構築	各行事運営の係(職員)を柱に、関係職員および生徒会役員がともに活動を行う	B	今年度の取り組みを継続し、さらに進めてきたい。
	渉外部	開かれた学校づくり	HPを活用した広報活動	B	HPだけでなく、一斉メールも活用して、各種集会や動員の協力依頼を進めたい。
	生徒指導部	規則正しい生活習慣の徹底	特別指導を通して生徒理解に立った生徒指導を実践できたか	B	生徒にとってのよりよい学校環境づくりに努めていけるよう努めていきたい。
	2 学年	担任・教科担任の連携・協力	各担任・各教科担任間での連絡を密にし、学年運営を円滑に行う。	A	今後も連携・協力をしていきたい。
3 学年	担任間の情報共有	担任間でコミュニケーションを密にし情報を共有し問題発生の未然防止と問題の早期解決を図る	A	残念ながら大きな生徒指導事案が発生している。担任を通じて校則の遵守を徹底したい。	
学校経営に係わるもの	生徒指導部	規則正しい生活習慣の徹底	遅刻数の減少を目指す指導	A	もっと意識向上を図り、何事にも意欲的に取り組めていける環境づくりに努めたい。
	生徒指導部	交通安全意識の向上	自転車及び原付二輪車における安全運転(ルール・マナー)の意識向上	B	大きな交通事故があったにも関わらず安全運転の意識向上をどうすればいいのか課題である。
	進路指導部	進路希望の実現に向けた指導の充実	3学年の就職試験の状況、進学の入試結果の検討	A	就職試験において若干の取りこぼしがあるように思えた。企業と生徒のマッチングがもっと良ければ。
	生徒指導部	ボランティア精神の徹底(真岡線駅舎清掃活動への積極的参加)	参加生徒の取り組み状況	A	参加生徒は意欲的に取り組んでいた。ボランティア精神の向上につながっている。
	学習指導部	授業を充実させるための様々な工夫と実践、及びその成果の全職員による共有化	6月、11月の情報交換会で得たことを活用し、授業を充実させるための工夫・改善できたか	A	校内授業公開開閉を春、秋の2回は設定したい。

#### ○ 自己評価についての課題

- 1 評価基準の検討
- 2 評価時期の共有

評価基準を検討して共通理解を図り、具体的な改善策を促す自己評価をめざす。

2月中旬の学校評議員会に自己評価結果を提示できるよう、早い段階で評価ができる項目を多く設定する。

#### ○ 学校関係者評価

- 1 資格取得について
- 2 人材育成について
- 3 自己評価について

学校評議員会を活用し、意見をいただいた。

・ 資格は就職して役に立つことであり、取得に向けての指導を、より積極的にお願したい。また、手を実際に使いながら取り組むことで得るものも多い。工業人として基本的なことをしっかり学ばせてほしい。

・ 経営に携わる者の目には、人間的に幅・深みのない社会人が目立つ。人間力のある人材育成を期待したい。

・ 学校のめざす方向性や着地点を、数値目標と絡めて、一般の方にも理解しやすいように提示すると良いのではないかと。